

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語演習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0088			科目区分	一般 / 必修選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：Terry O'Brien (ほか著『Totally TOEICR L&R Test: Challenge 400 TOEICRテスト：チャレンジ400』南雲堂、2019年 / 単語集：亀山太一監修『COCET 2600 理工系学生のための必修英単語2600』成美堂、2012年(初版)[入学時より継続使用] / 参考書：和田稔編著『シード総合英語 [四訂新版]』文英堂、2010年[入学時より継続使用] / 電子辞書を含む各種辞典[継続使用]						
担当教員	小澤 健志,小澤 健志,黒田 康文,黒田 康文,豊岡 めぐみ,豊岡 めぐみ						
到達目標							
総論：TOEIC L&R で400点以上が得点できる英語力を身につける。 【英語運用の基礎となる知識】 語彙 ・ 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切に運用できる。(適用) 文法及び構文 ・ 中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。(適用) 【英語運用能力の基礎固め】 英語コミュニケーション ・ 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。(適用) ・ 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。(適用) ・ 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。(適用) 【英語運用能力向上のための学習】 英語コミュニケーション ・ 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。(適用) ・ 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。(適用) ・ 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。(適用)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1 語彙	第 4 学年までに学習した語彙が定着しており、『COCET 2600』の単語番号1001から1500の500語も定着している		第 4 学年までに学習した語彙がほぼ定着しており、『COCET 2600』の単語番号1001から1500の500語もほぼ定着している		第 4 学年までに学習した語彙が定着しておらず、『COCET 2600』の単語番号1001から1500の500語も定着していない。		
評価項目 2 文法事項及び構文	中学校で既習の文法事項や構文が定着しており、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文が習得できている。		中学校で既習の文法事項や構文がほぼ定着しており、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文がほぼ習得できている。		中学校で既習の文法事項や構文が定着しておらず、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文が習得できていない。		
評価項目 3 読み書きを通して行うコミュニケーション	毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握でき、また、自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。		毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要をほぼ把握でき、また、自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章をほぼ書くことができる。		毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握することができず、また、自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	・ 4 年生までに学習した英語の各科目での成果を基礎に、TOEIC L&R で400点以上が得点できる英語力を身につけることを目指す。						
授業の進め方・方法	・ 授業は教科書を中心に演習を中心に行う。 ・ 授業の冒頭で、『COCET 2600』の単語テストを次のような範囲で行う。 中間試験(まで)：単語番号 1001～1250 (250語) 単語テストは「50語/回」× 5回 定期試験(まで)：単語番号 1251～1500 (250語) 単語テストは「50語/回」× 5回 ※ 中間試験および定期試験においても、同範囲で『COCET 2600』から出題する。						
注意点	・ 授業では教科書の各Unitを順序どおり扱っていくが、授業時間外でも各自で良く学習し、TOEIC L&R での400点以上の早期得点を目指すこと。 ※ 授業時間外で非常勤講師の先生に連絡等を行う必要が生じた場合は、非常勤講師控室(総合教育棟 2 階)内にあるポストに連絡事項等をメモにして入れておくこと。なお、急ぐ場合は、本授業の担当専任教員に連絡すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス TOEIC L&R 解説		授業内容等に関する理解を深める。 TOEIC L&R の受験対策を理解する。		
		2週	Unit 1 Traffic		本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。		
		3週	Unit 2 Weather & Events		本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。		
		4週	Unit 3 Lunchtime		本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。		
		5週	Unit 4 Hotels		本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。		
		6週	Unit 5 Health		本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。		
		7週	Unit 6 A New Life		本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	Unit 8 Job Hunting		本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。		

	10週	Unit 9 Workplaces & Products	本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。
	11週	Unit 10 Customer Service & Office Crime	本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。
	12週	Unit 11 Office Messages	本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。
	13週	Unit 12 Ordering & Shipping	本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。
	14週	Unit 13 Business Trips	本Unitの問題を解答し、関係する文法事項を確認すると共に、語彙力の増強等を図る。
	15週	前期定期試験	
	16週	答案返却・解答と解説	

評価割合			
	試験	COCET 2600	合計
総合評価割合	80	20	100
応用的能力	80	20	100